

2010 年度受託研究概要報告

神戸学園南地区

平成 22 年度てらいけプロジェクト実現化方策検討他業務

研究メンバー

- 佐々木宏幸 デザイン学部環境・建築デザイン学科准教授
齊木崇人 大学院芸術工学研究科教授
谷口文保 先端芸術学部クラフト・美術学科講師
鎌田誠史 大学院芸術工学研究科助手

委託者

独立行政法人都市再生機構西日本支社神戸西開発事務所

研究概要

近年、量的には宅地需要の逼迫感は緩和されているものの、質の高い生活「クオリティオブライフ」の実現が重要課題になっており、居住ニーズの個別化・多様化・高度化を踏まえた新しいライフスタイルの提案が必要となってきた。

その中で学園南地区では、「新・郊外居住」の取り組みの一環として、「新・田園都市構想」を策定し、その実現化を図ってきた。

本業務は、環境共生・市民協働・安全安心をキーワードとする良好な街並み・コミュニティ育成を目指すまちづくりを推進するため、地区内居住者や将来居住者を対象としたワークショップ等の実施を行い質の高い住環境と生活を実現することを目的としている。

あわせて、「みついけプロジェクト」につづく「新・郊外居住」の中心エリアである「てらいけプロジェクト」についても、まちのデザインやコミュニティ形成手法の実施計画を立案し、「新・郊外居住」の実現を目指すものである。

また、将来顧客の囲い込みや入居以前におけるコミュニティ形成を目的に、平成 15 年度より「舞多聞倶楽部」を立ち上げており、これまで継続して倶楽部を運営しホームページの更新等を行ってきた。

研究成果

前年度に引き続き、舞多聞地区内の居住者のコミュニティ形成を目的として、現在の居住者と将来居住希望者が多く含まれる UR 都市機構「宅地探し友の会」（平成 22 年より舞多聞倶楽部から移行）会員を対象に、学園南緑地において自然とふれあいながら環境への意識向上を図り、環境共生・市民協働・安全安心のまちづくりについて認識してもらうことを目的としてワークショップを実施した。また、現在計画中の自然住宅地「てらいけプロジェクト」では、将来顧客に対し住民参加型の計画プロセスの一環として第 3 回・第 4 回公開講座を企画し、目標とする空間像の共有化とコミュニティづくりを図った。（ただし、第 4 回公開講座は東日本大震災のため延期となった。）さらに、これらの取り組みに関する情報発信のために計 5 回・全 16 ページの UR 都市機構が運営するホームページ「なごみライフ」の更新を行うとともに、ワークショップの状況を「舞多聞ニュース」として作成した。これらの活動と並行して、平成 20 年度に作成したまちのデザイン計画・コミュニティ形成計画・住民参加型プロセス戦略について機構による販売計画を踏まえた検討・調整を重ねた。さらに、建築緑地協定策定についても、WS プログラムの検討やまちづくりルールの目標像の立案を行った。また、舞多聞プロジェクト地区内の現在販売が進められている一般分譲地宅地に対しても、質の高いまちなみ形成のため、前年度作成した外構デザインガイドラインに加え、さらなる調査・分析をもとに、住宅デザインに関する「住まいづくりデザインガイドブック」の作成を行った。このガイドブックは舞多聞の土地購入者に手渡され、住宅設計の場で利用されることを意図して作成されている。